

地域生活支援拠点等の面的整備における 5つの機能についての役割分担

【① 相談】		進捗状況
求められる機能	基幹相談支援センターや相談支援事業所等において、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録するなどした上で、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネーターや相談その他必要な支援を行う機能	整備済
具体的な整備内容	基幹相談支援センター等の相談支援業務において、連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネーターや相談その他必要な支援を実施する。	

【② 緊急時の受け入れ・対応】（地域生活における安心の確保）		
求められる機能	短期入所等を活用した常時の緊急受入体制等を確保した上で、介護者の急病や状態変化の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能	整備予定
具体的な整備内容	<u>拠点コーディネーターを配置し、緊急時の受け入れ・対応を行う。</u> 市内短期入所と協定を締結、登録事業所制により実施。	

【③ 体験の機会・場】（地域生活への移行・継続の支援）		
求められる機能	地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能	整備予定
具体的な整備内容	体験の機会・場 については、民間事業所の重度障害者向けグループホームなどに、体験の場としての居室を確保し、前述の登録短期入所事業所での宿泊体験に加え支援を行う。 1日あたりの単価契約による委託料を予算措置。24時間の連絡体制については時間外等は行政で緊急連絡を受け、コーディネーター、相談支援センターと連携、もしくは登録事業所に直接依頼する。	

【④ 専門的人材の確保・養成】		
求められる機能	医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者等に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や人材の養成を行う機能	整備済
具体的な整備内容	現状として、すでに自立支援協議会幹事会による協議により、外部講師の招聘等を実施するなどの研修体制を確保されており、今後は拠点コーディネーターとの連携体制を構築し、体制強化を図る。	

【⑤ 地域の体制づくり】		
求められる機能	基幹相談支援センターや相談支援事業所等や配置された拠点コーディネーターが中心となって、地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能	整備済
具体的な整備内容	現状は自立支援協議会幹事会による協議により、地域の体制づくりに関する取り組みを企画、実施しており、今後は拠点コーディネーターとの連携体制を構築し、体制強化を図る。	